電算・情報関係部課長会議　会議録

１　日　時　令和８年７月 16 日（木）　午後２時 00 分から午後３時 40 分

２　会　場　愛知県自治センター 大会議室

３　当番市　みよし市

４　出席者　県・・・デジタル戦略課戦略推進グループ主査 平田恵梨奈
デジタル戦略課市町村 DX 支援グループ主査 服部豊
デジタル戦略課情報システム室
情報管理グループ室長補佐 児玉朋孝
市・・・名古屋市総務局行政 DX 推進部
デジタル改革推進課長 上土井崇之 始め 37 名
市長会事務局・・・行政係長 福井直也
財政係長 伊藤朱美

５　内　容

①　開　　会

【事務局】

定刻となりましたので、ただいまより電算・情報関係部課長会議を開会します。本日は、業務ご多忙の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。また、お忙しいところご臨席賜りました愛知県の皆さま方には、心よりお礼申し上げます。

私は、進行を務めさせていただきます、愛知県市長会事務局の伊藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、愛知県市長会では、１５部門に分けて各種部課長会議を開催しており、そのうちの一つが、この電算・情報関係部課長会議です。

これらの会議は、各部門における課題等につきまして、意見交換や情報提供を行い、また、必要に応じて、愛知県の方からご助言などもいただく、と言ったことを目的として例年開催しております。

本日の会議においても、積極的に議題をお持ちよりいただきましたので、日頃の業務の参考としていただければ幸いです。

それでは、まず始めにご多忙の中、ご出席賜りました愛知県の皆さま方をご紹介させていただきます。

デジタル戦略課　戦略推進グループ主査　平田恵梨奈　様
デジタル戦略課　市町村 DX 支援グループ主査　服部豊　様
デジタル戦略課　情報システム室
情報管理グループ室長補佐　児玉朋孝　様

②　あいさつ

【事務局】

それでは、県を代表しまして、デジタル戦略課平田様よりごあいさつをいただきます。

【愛知県デジタル戦略課　平田主査】
皆様こんにちは。愛知県デジタル戦略課の平田と申します。皆様、日頃から県の情報施策の推進に御理解と御協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。
ここ数年、システムの標準化・共通化、情報セキュリティ対策の強化など、各市の皆様方におかれましては、多岐にわたる課題に対応されていることと存じます。
また、生成AI、クラウドサービスの進展、そして多層的なセキュリティ対策の重要性が高まっている中で、自治体における情報施策の在り方も大きく問われる時代になってきています。
本日の会議は、各市の皆様方それぞれの実務に即した課題、取組について、意見交換が行われるということで大変貴重な機会と承知しております。
愛知県からは私を含め3名参加させていただいておりますけれども、皆様方の御意見を、県としても今後の施策の参考とさせていただきたいと思いますし、また効果的な情報施策の推進にしっかりつなげてまいりたいと考えております。
本日はどうぞよろしくお願いいたします。

③　議　　題
【事務局】
ありがとうございました。
ここからは、資料に沿って進めさせていただきます。不足資料がございましたらお申し出ください。
なお本日、机上に名簿を配布させていただいておりますが、修正がありましたので配布させていただきました。岡崎市さんが欠席となっておりますのでよろしくお願いいたします。
それでは、次第３　議題に入ります前に、前回会議におきまして、建制番号順により、今年度の会議進行の議長当番市として、みよし市さんに決定しております。
みよし市企画部デジタル戦略課長　芳村様、よろしくお願いします。

【議長】
みよし市のデジタル戦略課長、芳村です。本日よろしくお願いいたします。
それでは、議題に入る前に、本日の会議の進め方について説明させていただきます。
各市の状況は、前もって配布していただいておりますので、各市の状況の発表はとり行わず、議題ごとに、まず提案市から趣旨説明をしていただきます。
次に私から簡単にとりまとめ状況の説明をいたします。その後で、回答について補足説明がある市がありましたら、補足説明をしていただきます。
次に、議題提案市に各市の回答について追加質問したい市があるかどうか、お聞かせていただきまして、議題提案市以外の市で、追加質問や、ご意見がある場

合は聞かせていただくという順番で進めさせていただきます。
最後に必要に応じまして、愛知県の方からコメントを頂くという順番で進めてまいります。
また、この会議は、要望の場ではなく、情報や意見交換の場として開催するものですので、みなさまからの活発な意見と情報共有をお願いします。
それでは議題１、地方公共団体情報システム運用最適化計画について、提案市であります一宮市さん、豊田市さんより趣旨説明をお願いします。

●議題１　地方公共団体情報システム運用最適化計画について

【一宮市】
一宮市の伊藤です。よろしくお願いいたします。
本市のほうから運用最適化計画について議題を提出させていただきました。
標準化後の運用経費の問題につきましては、令和６年頃に、実際、標準化後の経費についてベンダーなどから情報が上がるようになってきまして、その当時のことを考えてみますと、数値を聞いたときに、これは大変なことだなあという感想を持ちました。
そういった中で、愛知県市長会にも、要望という形で提出さしていただき、それは国のほうにも届いてるかなあと。またその他、一宮市は国のデジタル行財政改革会議の下に国地方デジタル共通基盤推進連絡協議会というのが、構成されておりますけども、その中で、全国市長会を代表して一宮市のほうが参加させていただいております。
そういった場でも、運用経費の問題についてお話させていただくと、昨年、冬の国の補正予算で、今年度から運用経費が補助されるようになりました。
そういった中で、今回、運用最適化計画を提出する必要があるということになりましたので、今回、議題にあげさせていただきました。
一宮市の標準化は今年の１月に実施しております。20 業務のうち、11 業務が標準システムに移行できたというところで、まだ残り９業務残ってるという状態です。
また本市の場合、従前の費用を比べますと、概ね 2.4 倍に経費が上昇しているという状況です。
本題に戻りますが、運用適正化計画の中で、他の自治体との情報交換、運用経費低減に向けた情報交換をしてますかといった問いが含まれておりましたので、一宮市では共創プラットフォームは見ておりますが、他の自治体との意見交換はやってなかった状況ですので、県内の各自治体の方はどうされてるかなあというところをお聞きしたいというとこがありましたので、今回議題として出させていただきました。
今日議題に出させていただいたところで、この場についても意見交換の場を持ったという形にはしたいなと考えております。
以上です。

【議長】
ありがとうございます。では次に豊田市さんお願いいたします。

【豊田市】
はい。情報システム課長柴田でございます。
一宮市さんと大体同じではございます。
豊田市についても１月から１０業務が標準に移行しまして、運用経費が掛かり始めているという状況です。豊田市の場合は自主開発をホストマシンで行っておりましたので単純に経費の比較ができないところですが、圧倒的に経費が掛かっているということは間違いないです。一宮市さんからもありましたが、運用最適化計画に情報交換という項目がございましたので、この場をお借りしてそれがなされればというところで提出させていただきました。

【議長】
ありがとうございました。
各市の回答を見させていただきますと、（１）実施していると回答しているのが１５市あります。ただ、内容を見ますと最適化に絞った情報交換をしていると思って回答したかどうかでブレが出ているようです。例えば豊田市さんが回答されていますが、本市では西三河１１市町電算関係課長会議、担当者会議に参加していますし、日進市さんが回答されている尾三地区情報システム共同研究会議にも参加しています。知立市さんの回答されている共創 PF にも参加しています。
（２）も同様で標準化に限定すると犬山市さん、大府市さんで事例があるのかなというところです。
（３）ガバクラのスペック見直しやシステム稼働時間の見直し、デジ庁の見積精査支援を活用するというような回答が見られました。
（４）は後ほどとさせていただきますので、ここまでで、各市の回答で補足説明したい市がありましたら挙手をお願いします。
よろしいでしょうか。では、提案者であります一宮市さんと豊田市さんの方で特に伺ってみたい事がございますでしょうか。

【一宮市】
一宮市からですけども、回答を見させていただいた中で江南市さんの方で、ガバメントクラウド利用料の中で、セービングプラン、長期割引を適用されたという記載がありました。セービングプランの内容を確認し直した中で、1 年または 3 年の継続契約という形になるようですが、一宮市の場合は標準化に当たっては随意契約ということで、単年度契約で進めております。
複数年契約の場合、その辺りとの兼ね合いがどうかということをお聞きしたいので、江南市さんに長期継続の部分について、どういう状況かお聞かせ頂ければと思います。

【議長】
はい、江南市さんよろしいでしょうか。

【江南市】
はい。江南市です。契約自体は単年度契約をしております。パッケージ変更の判断を行うライフサイクルとしては 5 年から 10 年と考えておりますが現時点では未定というところで契約は単年になっています。

【一宮市】
ありがとうございます。小牧市さんで標準化移行後、デジタル庁の見積精査支援を受ける予定という記載がありますが、一宮市の状況になってしまうんですけど、昨年度は一宮市でも見積り精査をお願いしておりました。
ベンダーの協力という部分ですが、ガバメントクラウドの利用部分についてはある程度情報が出てきますが、サービス部分については回答が出てこず、デジタル庁に上げる資料がつくれないという状態になってます。
ハード的な部分については情報が出やすいが、ソフトウエア保守はベンダーの協力がないと見積り精査が難しいと実感しています。
小牧市の回答がありましたので、ベンダーさんに協力してもらえそうか、感触があれば教えていただきたい思い質問させていただきます。

【議長】
では小牧市さんお願いします。

【小牧市】
はい、小牧市の安藤です。よろしくお願いします。
いま一宮市さんから逆にいろいろ状況を教えていただきまして、小牧市は回答にもありますようにまだ予定とところでございます。
ほとんどのシステムがまだ移行できていない中ですが、運用最適化計画の流れの中で、ベンダーとの打合せにおいて今後見積り精査支援をお願いするよという話をしておりまして、ベンダーからは協力しますという返事はいただいている状況です。
先行している一宮市さんの状況を聞かせてもらう中で、サービス利用の部分の情報がなかなか出にくいという話が逆に分かりましたので、ちょっと早いタイミングで、そういった部分を確認したいと思います。どうもありがとうございます。

【議長】
それでは豊田市さんからご質問がありましたらお願いします。

【豊田市】
はい、豊田市です。ご回答ありがとうございます。やはりどちらの団体もガバメントクラウド利用料を中心ということかなぁと。一宮市さんからもありましたとおり、ベンダー側のところについては、なかなかつっこみきれないというところがございます。豊田市についてもとりあえず一年間回してみて、保守の状況であったり、特に運

用保守的なところでお金がかかっているところをもう少し薄くしてもいいという見直ししかできないのではと考えています。

【議長】
それでは飛ばしておりました（４）に入ります。議題１に対してその他課題や追加で意見を聞いてみたいことということで事前にお伺いしておりますが、まず春日井市さんから他市に聞かれてみたいことは何かありますでしょうか。

【春日井市】
春日井市ですが、経費の最適化以前の部分、そもそものシステム標準化が春日市ではまだ 20 業務のうち、戸籍の 2 業務しか移行できてませんので、この議題に若干合わないと思いながら書かせていただきました。
コストというよりは、少しでも早く安全に標準化システムに移行できることを考えるのがもう精いっぱいでございまして、コストについてはガバクラの使用料ですね、まだ移行がほとんどできてないとはいえ、先にガバクラにリフトしているものですから、ガバクラの使用料を少しでも抑えられるように業者と詰めてはいますが、そういった状況でございます。

【議長】
ありがとうございます。続きまして小牧市さんのところになりますが、シングルベンダー方式を採用している中で、ガバクラの運用管理補助業務を価格競争で調達した事例があれば共有してほしい、いうものになっております。
この議題で我々の団体は価格競争調達した事例がありますよというような事例がある団体がありましたら、挙手をお願いしたいと思います。
挙手はございませんが、小牧市さん何かございますか。

【小牧市】
ありがとうございます。先ほどの春日井市さんと実は同じで、小牧市も戸籍と生活保護以外の移行の目途が立っていない状況ですので、今回の議題とは少し離れますがいかに、円滑に、移行を完了させるかというところを、本市では最優先課題としている状況です。ありがとうございます。

【議長】
では続きまして、稲沢市さんと、尾張旭市さんの質問になりますが、今後の予算、来年度予算に向けてですとか、今後の議会対応に向けて興味がある市が多いと思われます。
ただこの場で、全ての市に稼働前と稼働後で何倍になりましたかっていうのをお聞きするのは現実的ではありませんので、後ほど市長会を通じまして、この質問に関しては皆さんに上げさせていただきます。
取りまとめが終わりましたら市長会から再度情報提供させていただくという形で

進めさせていただきたいと思います。
運用最適化計画は各団体から国に提示されておりますが、県にも情報が共有されておりまして、愛知県の方で委託業者との打合せの中で、何かしら資料が出るかもしれないというお話もあり、後で愛知県さんのほうからコメント頂きたいと思います。
続きまして、高浜氏さんの内容になりますが、実際にサーバースペックの見直しですとか、稼働時間見直し、見直し内容を実施してもらえた実績があるかという問いかけがあります。
実際にベンダーさんに働きかけをやって改善につなげたような団体がございましたら挙手をお願いいたします。
まだ1年経ってないところが多いと思いますので、まだこれからかなと思いますので、高浜市さん何かございましたらお願いします。

【高浜市】
すいません高浜市の榊原です。ありがとうございます。今、議長さん言われたようにまだ本格稼働というか、完全移行もまだ進んでないような状況かとは思いますので、また情報共有させていただけたらと思いますのでよろしくお願いします。ありがとうございます。

【議長】
それでは、続いてあま市さんの内容になります。あま市のところが、情報提供依頼がベンダーの負担になっているというところを感じられているというところで、ベンダーへの情報提供に関して配慮していることがあれば、教えてほしいという内容です。便が何か配慮しているというような団体ございましたら挙手のほうお願いいたします。
挙手がないようですが、あま市さんから何かございましたらお願いいたします

【あま市】
最適化計画のベースは作成しましたが、今後効果、検証していく過程で、ベンダーの協力が必要にはなってくると思いますが、初めにこの計画を示して協力のお願いはしてきたんですけれども、なかなかいい返事はもらえない。
他の自治体さんからも、先ほど話がありましたけれども、なかなかいい返事がもらえないということで、ほかの自治体さんはどうかという思いで今回の質問をさせていただいたんですけど、ベンダーから協力を得るのに苦労していることを実感しました。ありがとうございました。

【議長】
それでは他に追加でこの議題に関しまして、伺ってみたいことが何かありましたら、挙手のほうお願いいたします。
よろしかったですかね。特にないようですので、愛知県の方からこの議題につきましてコメントなどあるようでしたら御発言をお願いいたします。

【愛知県デジタル戦略課　服部主査】
愛知県デジタル戦略課の服部と申します。
まず情報交換、事例の参照については、既に話題に出ておりますが、デジタル改革共創プラットフォームに愛知県用のチャネルが作成されております。
また全国の規模で標準化や、ガバクラ等、それぞれのテーマごとのチャネルがつくられており、そちらで情報交換や事例紹介がされており、こういった場で情報交換をされているという認識です。
また、愛知県では市町村 DX 推進支援事業、こちらの一環としまして標準化支援を実施しております。
今年度は先ほど話題に出ました運用経費最適化計画、導入後の稼働実績データ、こういったものをもとにして、最適化に関する支援を行ってまいりたいと思っております。
また先ほど一宮市さんから話のありました昨年度からやっているデジタル庁の見積り精査支援ですが、昨年度は 19 団体において見積り精査支援を実施しておりまして、県としての取りまとめをする際に国の方にもお願いして全国的にも多い団体について見積り精査をしていただいてる状況です。
実際に一宮市さんからも話がありましたとおり、見積り精査支援の資料がなかなか出てこない状況でした。国の委託業者からの質問に対する回答が遅いとか、余り正面から受け止めていない回答がありました。
見積り精査支援のレポートとしては、ガバクラ利用料に関しては例えば 25%減少が見込めるのではないかというレポートが出てきますが、その他運用経費に関しては、ベンダーとしてもまさにそこが彼らの売上げになることもあり、精査が難航していた印象です。
標準準拠システムについては運用し始めている段階に入ってきてますので、実際の実績データが出てくるので、実績データを元にもうちょっと具体的な話ができるんじゃないかなとは、私個人としては、期待しているところではあります。
また、県からの支援も、そういったところも踏まえて、最適化を進めていければなと思っております。
私からは以上です。

【議長】
ありがとうございました。議題 1 につきましては以上とさせていただきます。
では続きまして議題 2、オープンデータ公開数及びダウンロードランクについて、提案市であります安城市さんより趣旨説明をお願いいたします。

●議題２　オープンデータ公開数及びダウンロードランキングについて

【安城市】
はい、安城市の津口と申しますよろしくお願いいたします。

安城市では、DX 推進計画 2.0 というのが、令和６年から９年までの４年間で取り組んでいるところです。その中でＫＰＩとしてオープンデータの公開数を採用しております。令和７年度末の時点で９２のデータを公開しておりますが、目標は 100 としており、これが多いのか少ないかという判断指標がないということで、今回、こちらの方の議題とさせていただきました。

またせっかく上げて見ていただくものが多い、ダウンロードが多いものと、あと 0 件というのも多少あったりします。

余りにも需要のないものに関しては、アップロードにも手間かかりますので、今後減らしたい、逆にどういったものが人気があるといいますと、安城市の場合、年齢別男女の５歳刻みの人口や、地番図のレイヤーですとか、あとＡＥＤ設置図が多くて、7 年度末で 1950 回ぐらいダウンロードされているらしいんですが、他の市で例えば安城市が公開していないもので人気があるものがありましたら、担当課にオープンデータとして公開するよう働きかけたいということがあり質問させていただきました。

以上です。

【議長】

ありがとうございました。各市の回答状況を見させていただきますと、(1) のところでありますと、尾張旭市さんや知立市さんが７００を超えるオープンデータが公開されていますが、1 桁の団体もあるという状況になっています。

(2) に関しては公開しているものの中からのダウンロード数上位なので、なかなか規則性を探すっていうのは難しいですが、人口ですとかコミュニティバス関連がまんべんなくダウンロードされているいうのが見て取れました。

(3) は後ほどとさせていただきますので、ここまで各市の回答で補足説明したい市がございましたら挙手をお願いいたします。

よろしいでしょうか。それでは安城市さんのほうで特に伺ってみたい市がございましたら、何かありましたらよろしくお願いします。

【安城市】

各市町さんがこれだけのオープンデータを公開しているということを参考にさせていただきます。ありがとうございます。

【議長】

(3) 蒲郡市さんの課題感に関しまして、活用先の把握までされている市が、ございましたら、事例共有をお願いしたいと思います。活用先の把握がされている市がありましたら挙手をお願いいたします。

そこまでされているところはないですかね。蒲郡市さん何かありましたらお願いします。

【蒲郡市】

蒲郡市小島です。今回、活用先などをどう把握されてるかというところで皆様にお伺いしたかったのですが、蒲郡市同様そこまで把握はできてないということが分かり

ました。ありがとうございました。

【議長】
　続いて尾張旭さんの事例なりまして、オープンデータとして公開したものの更新状況をどう管理されているか、管理されているような団体がございましたら挙手のほうで事例共有いただければと思います。

【安城市】
　安城市ではまず年度当初に、内部事務の掲示板に依頼し、データの更新を各課に依頼します。その後約1か月後にデジタル推進課で更新日が1年以上空いているものに関して個別に連絡して、常に新しい最新の情報にしてくださいという依頼をしながらなるべく最新のものを公開するようにしています。

【議長】
　ありがとうございます。安城市さん以外で事例がございましたら挙手のほうで御発言をお願いいたします。
　よろしいでしょうか、それでは尾張旭市産お願いします。

【尾張旭市】
　尾張旭市の久野と申します。安城市さん御紹介ありがとうございました。
今日この資料を皆さんに提供していただいた中で、本市はオープンデータの数が多いと思っています。数年前にオープンデータを積極的に進めるということで、庁内の各課にデータ収集の負荷をかけて集めた状況ではありますが、なかなかメンテナンスを我々がもうお手上げというか、数が多くできてないという状況で、年に1度照会を予定していますが、投票場の地図情報や地図上に落とせるデータといった項目は、何年も更新されずに「更新不可」というところも出ており困っている状況です。
　人口に関するデータなどは、毎月情報政策課でメンテナンスをして更新をしていますが、困っていまして、ただこれだけ見させていただくと、本市で公開しているデータが多すぎて、どれだけ世の中に活用頂けるのかと悩むところもありますので、今日皆さんの資料を参考に見直しを検討したいと思いました。ありがとうございます。

【議長】
　ありがとうございます。では続いてあま市さんの内容になりますが、ダウンロード数の集計はどのようにして行っているかというところですが、大体私ども含めてシステム対応でされてるとは思うんですが、何かシステムから直接でなくて、何か手でやってますとかそういう事例がございましたら、挙手で御発言頂ければと思います。
　あま市さん何かございましたらお願いします。

【あま市】
　あま市でございます。ダウンロード集計をどのようにしてということでお伺いした

んですけれども、実際、広報広聴の担当してる課で、アクセス数については把握できる状況でありました。ありがとうございました。

【議長】
ありがとうございました。それではほかに追加で、この議題に関して伺ってみたい市がございましたら挙手のほうをお願いいたします。
ございませんでしょうか。特にないようですので、愛知県の方からこの議題につきましてコメント等あるようでしたらご発言をお願いいたします。

【愛知県デジタル戦略課　平田主査】
愛知県のデジタル戦略課の平田です。愛知県のオープンデータの公開数について紹介させていただきますと、愛知県の場合は、オープンデータカタログサイト、マップあいちを運用しております。
二つのサイトのタイトル名、マップ名を合計していきますと 439 件のデータを公開しております。
ただ、数え方が難しいというところが正直ありまして、例えばあいちの勤労というデータは当然毎年出ていくものですが、2021 年年報、2022 年年報と、当然そういう、古いデータも参考にされたい方もいると思いますのでそういったのも残していき、年度別のデータも別データとしてカウントすると、439 件になっています。オープンデータ公開数といったときに、どのデータをもって数えるのかというのが少し難しいという気が個人的にはしております。
皆さんの御意見をお伺いして、オープンデータの数を増やしていくにしても、更新の手間もかかっていくという中で、どう活用されているのかというところが見えてこないと、庁内の理解も得られにくいと感じました。
愛知県もこの点に関してはまだまだというところでございますので、また皆さんの御意見を聞かせていただきながら愛知県もオープンデータの公開を引き続き進めていきたいと考えております。
私からは以上です。

【議長】
ありがとうございました。それでは議題２につきましては以上とさせていただきます。続きまして議題３オンライン申請の導入状況につきまして、提案者であります安城市さんより趣旨説明をお願いいたします。

●議題３　オンライン申請の導入状況について

【安城市】
それでは引き続きよろしくお願いいたします。安城市では、国が示す地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続、48 手続きのオンライン化、これを契機としまして今行政手続きのオンライン化に取り組んでいます。

令和7年度末時点で１３４の手続のオンライン化が完了しております。ただ、逆に言うと、イベント等を取りまとめをした結果、833 手続きのうち 614 がまだ郵送もしくは来庁といういうような現状がございます。

これらについては、ちょうど今日各課に対して、オンライン化できないのか、オンライン化できない根拠は何かを確認しながらオンライン化を推進したいと考えているところですが、各市のオンライン化の状況を確認したく議題にあげさせていただいた次第でございます。

【議長】

各市の回答状況を見させていただきますと（1）の各市の取組進捗がばらばらですので、各市で御確認頂ければと思います。

（2）に関しましては優先順位を決めて実施されていましたり、伴走支援や研修を実施したり、オンライン申請の障壁となりがちなキャッシュレス対応など、様々な取組がされているのが見て取れました。

（3）は後ほどとさせていただきますので、ここまで各市の回答で補足説明したい市がありましたら挙手をお願いいたします。

それでは安城市さんのほうで特に伺ってみたい市がありましたらお願いいたします。

【安城市】

質問はございません。安城市といたしましては今後進めていく上では法令でオンライン化できない、あとは安城市以外の関係団体とか関係機関から紙で出してって言われるようなもの、あとどうしても紙じゃないと駄目だと担当課が判断するもの以外のものに関しては基本的にはオンライン化を進めていきたいと思っています。この数字を見ますと各市さんがかなり安城市も多くの手続をオンライン化していることがわかりましたので、各市さんにお問合せさせていただくことがあるかと思いますので、その時はよろしくお願いいたします。以上です。

【議長】

ありがとうございます。それでは（3）に戻りまして、まず名古屋市さんの課題につきまして、市民側の利用率の向上策というところで事例共有頂ける市がありましたら挙手をお願いいたします。

すいません。瀬戸市さんが、（2）で書かれていることが恐らく向上策かと思いますので、瀬戸内市さん御紹介頂けるとありがたいです。

【瀬戸市】

瀬戸市でございます。回答に記載をさせていただいておりますけども、他自治体さんもやってらっしゃると思いますが、各市のホームページでオンライン手続きはこちらというようなバナーなどを設置して、そちらからオンライン手続きのページに誘導する、あるいは公式 LINE アカウントを持っておりますので、そちらのメニューのト

ップページのほうにですね、同じようにリンクのバナーのボタンを置いて誘導しているということをしております。
あともう一つはですね昨年度ちょっと試験的にというかやってみたがなかなか浸透していないのですが、各窓口向けに情報政策課のほうで、エクセルベースでですね、チラシといいますか、ビラの様式をつくって、オンライン手続が便利ですので、今度からオンライン手続やってくださいねという、テンプレートをつくり、あとこういう手続はオンラインでできますよっていうところを空欄にして、それを各課のほうで埋めてもらって、QR コードなりを貼りつけてもらって、各課で印刷し、窓口にきて手続をしていただいたお客さんに配ってくださいよという取組をやってみたところでございます。
ただですねちょっとなかなか各課のほうもですね、日々の業務が忙しいのでそこまで手が回らないということで、活用しているところは本当にごく僅かの部署というふうに聞いてます。以上です。

【議長】
ありがとうございます。名古屋市さんお願いいたします。

【名古屋市】
行政手続のオンライン化につきましては、部分的なオンライン化も含めましてオンライン化自体は 100%近くまでいってるんですけれども、それが利用されてるかというと、利用率としてはかなり低い数字なものですから、今後はですねこの利用率といったようなところをどう上げていくかといったところで、チラシですとかウエブサイト、そういったところの候補をといったようなところは今力を入れて取り組んではいるんですけれども、それがちょっと市民のほうに届いるかどうか分からないといったことですとかそういった取組以外にですね何かこう、取り組まれてることがあればと思い書かせていただきました。瀬戸市さん、どうもありがとうございました。

【議長】
ありがとうございました。続きまして半田市さんのアナログ規制改革がきっかけでオンライン化した事例がありましたら共有頂ければと思います。アナログ規制改革きっかけで始まったっていうような団体がございましたら、挙手をお願いいたします。
オンライン化進めていく中でアナログなものが障壁となってっていう逆のパターンが多いような気がしますが、半田市さんありましたらお願いいたします。

【半田市】
半田市ですけれども、アナログ規制改革ですけれども、半田市としてはまだほとんど未着手の状態で、実際にこれをどう進めていくかとかどう取り組んでいくかっていうところで、これをやることによって例えばオンライン化が進めようとか、もしそういった事例があるとするならば、アナログ規制改革を積極的に進めていくかっていうことも考えられるんですけども、何か条例を見直してとか、規則を見直して要綱を見

直して終わってしまいそうな気配もあるので、ちょっとその辺の結果がもし先に見えてる市町さんがあったら、そういったところを教えていただきたいです。

【議長】
ありがとうございました。春日市さんのものは、愛知県さんへ御意見ということでよろしいでしょうか。

【春日井市】
これはですね、私どもからすると、いろんな手続の中で事業者から受け付けるような手続があると思います。
我々がですね、愛知県庁さんにする手続というのが、愛知県さんからすると事業者から受け付ける手続に当たるのかなあと思うんですが、愛知県さんのほうでですね、どのようにオンライン化、特に市町村が愛知県さんに行うような手続の問題かとかですね、もしくはその他、県民の皆さんや、県の事業者の皆さんに対してどういうふうにオンライン化を進めてみえるのかなあということが聞きたいと、記載させていただきました。

【議長】
愛知県さん、御回答頂けるようでしたらお願いします。

【愛知県デジタル戦略課　平田主査】
ご質問は、市町村さんから出していただく書類と、県民、事業者から出される書類の２点ということですかね。愛知県の場合、メールもオンライン化扱いにしておりまして、市町村さんから出していただく書類というのは、メールが多い印象ではありますが、紙で出していただいているものがありますか。

【春日井市】
そうですね土木のほうからですね、保健衛生部門に至るまで、いろんな部門がございますので、私も、一担当としてですね、いろんな部門にあって紙だなあっていう思うところもございますし、我々のような情報化部門からするとですね、我々だけが旗を振っていても、各部門がですね、やる気にならなきゃオンライン化は進まないっていうのが現状の中で、我々が愛知県庁さんにお出しするものについても、そういうものもあるんだというところで、県庁のデジタル部門ですね、県の他部門の皆さんに対して、どういう働きかけをしてみえるのか、事例なんかがあればと思って書かさせていただきました。

【愛知県デジタル戦略課　平田主査】
ありがとうございます。県民や事業者における行政手続のオンライン化をデジタル戦略課がどう進めているのかお話をさせていただきますと、県庁内の行政手続の一覧を作成し、年２回、庁内に照会し、オンライン化されたのか、されていないのか、ま

た、されていない場合の理由を調査しております。
　オンライン化されていないものについては理由を書いてもらうわけですけれども、そこは直接ヒアリングをして、どうにかならないものなのかというのを個別に確認しています。県としては、電子申請・届出システムを一番に使っていきたいということがありますが、中には国の動きに引っ張られているところもあってですね、国がまだシステム化できていないものがあったりとか、建設工事とかは国のほうでシステムができていると承知していますけど、国の動向次第というのがあったり、ただ中には県の独自の行政手続で、差戻しというか、対面の場合はここ直してくださいと言って、その場で直してもらって完結するのが、電子でやるとそこで何往復かしないといけない、逆にそういった差戻しのケースが多いような手続は、オンライン化するほうが職員の負担が大きくなるとか、そんな理由でなかなかオンライン化されていないという手続きも幾つかはあります。
　ただ、その優先順位の決め方で、申請件数が多い手続、愛知県だと、年間 1000 件を超える手続から優先的に、潰していこうじゃないですけどオンライン化していこうということで課題も把握しながら、解決できるものは解決をしてオンライン化を進めているような状況でございます。

【愛知県デジタル戦略課情報システム室　児玉室長補佐】
　情報システム室の児玉と申します。春日井市さんの発言に対し、補足をさせていただきたいと思います。
　例えば市町村と愛知県が直接やりとりするような、例えば子育て関係の県が上乗せをするような、福祉系の手当とか、あと保健所で受け付けをして県に送達していただくもののうち中核市の保健所は県とネットワークで接続されていませんが、何らかの形で報告していただかないといけません。システム面ですと愛知県のネットワークはインターネット系に寄せているため、ＬＧＷＡＮ系にシステムがほぼ無い状況。県と市町村間のネットワークインフラができていないということが課題と考えています。また、マイナンバー関係ですと、インターネット系でデータをやり取りする訳にはいかないので、どうやってデータをやり取りするかは今後の課題でして、福祉部門からも相談があります。今後、国の動向を踏まえながら、データがやりとりできる基盤があればオンライン化が進むのではと考えています。

【議長】
　ありがとうございます。では続きまして蒲郡市さんの課題感につきまして、庁内の職員の意識醸成で工夫されている点、事例共有頂ける市がございましたら挙手のほうお願いいたします。
　蒲郡市さん何かございましたらお願いします。

【蒲郡市】
　意識醸成というところでそこに課題感を感じてちょっとこの場で書かさせていただきましたが、今日この場でのお話を聞いてやはりこの課題っていうのは、当市だけ

じゃなくどこにも通ずる課題ではないのかなということを改めて感じました。ありがとうございました。

【議長】
ありがとうございました。それでは、小牧市さんの 1 点目と新城さん高浜市さんの 2 点目の課題に関しましては、同じような内容だと思いますので、判断基準というところを設けている団体がございましたら挙手のほうをお願いいたします。
オンライン化をするしないという判断基準を設けている団体があったらお願いします。

【安城市】
安城市では各課に調査の通知を出したときに先ほどもちょっと言いましたが、法令だとか、あと関係する団体が紙でっていう、またどうしても紙でないといけないものは除くということで、あとは先ほど愛知県は 1000 件以上とのことでしたが、安城市は 100 件以上のものから順番にという多いものから順番にやっていくよう働きかけをしていて事業者や市民を優先的にというかたちで、各課のほうには働きかけをしているかたちをとっております。
あとは、幹部会議という部長級が集まる会議があるんですけども、今度そちらのほうでも、副市長から、トップダウンじゃないんですけども、副市長からお話をしていただくとか、あと成功した事例とか、補助金を今年始めた部署とかがありますので、そういったものを庁内の掲示板みたいなとこを掲載して紹介して、こういうこともやっている課があるよっていう共有し、全課にお知らせするようなかたちで何とかうまく進んでいかないかなというかたちで取り組んでおります。以上です。

【議長】
ありがとうございます。他に事例がありましたらお願いいたします。

【豊田市】
豊田市です。安城市さんと同様に、判断基準というよりはこういうものから順番にやっていこうねということで件数が多いとか、障害が少ないものからやっていこうねということで、オンライン化を進めてまいりました。
先ほどちょっと意識醸成の話とも絡むんですけれども、件数の多いやつからやってこうねというのがなかなか正直最初うまくいかなかった部分もございまして、結局どういうパターンが成功したかなと考えると、事務そのものをデジタルを基本に考え直そうねということで、ＢＰＲの観点をもって各課の人にヒアリングをして、今紙ベースで考えられている事務フローを電子ベースで考え直すと、職員もこんなに楽になるよねというのをＢＰＲの観点で膝突き合わせてやっていった事例っていうのは、結局職員も楽になるもんですから、かなり件数が伸びたっていうことはあると思います。
またいざ申請が始まったときに自分たちが楽になるものですから、他の人間が積極的に宣伝するようになると利用件数が伸びていくといういい方向に流れてったのか

なあと思いますので、オンライン化というよりは、ＢＰＲを進める中で、オンライン化、デジタル化をどう入れ込んで進めていくのかという考え方でやっていったものが、豊田市の中ではいい方向に転んだものが多いなという状況でございます。以上です。

【議長】
ありがとうございいます。他に事例共有頂ける団体ございましたらお願いいたします。

【一宮市】
一宮市ですけども、一宮市のほうで回答させていただいてるんですけども、今年度末までにオンライン化 100％を目指しているという状況になっております。
一宮市の場合のオンライン化の判定なんですけども、当然オンライン化して最初から最後までオンラインで完了、申請が完結するっていうのが理想ではあるんですけども、とは言ってもやっぱり多くの手続の中でなかなかオンライン化で完結するのは難しいと。
一宮市ですと、手続中の一部でもオンライン化できればオンライン化したという扱いにしようという形で進めておりますので、全部完結きれいに完結するのが理想なんですけど、そうじゃなくてもいいんじゃないっていうところができれば、ちょっとオンライン化するのかなっていうところが、あったなと思います。
昨年度市長のほうから、100％達成しましょうという話がありまして、そのあと調査しながら実施状況が悪いところについては各課のヒアリングで何が障害になってるか、何でつまずいてるかっていう話を聞いております。
また今年度はですね、ちょっと BPR の関係で業者に委託をしておるんですけども、その中で実際の申請フォームがなかった、時間なくて作れないっていうところもございますので、手続きフォーム作成の伴走支援を入れたりしています。
手続の中の一部だけの、例えば来庁予約でもいいのでやってくれっていう話で進めてますので、そんな形で聞かせできればいいかなあというふうに一宮市では取り組んでるという状況です。以上です。

【議長】
ありがとうございます。他にありましたらお願いします。小牧市さん新城市さん高浜市さんよろしいでしょうか。
続きまして小牧市さんの 2 点目の課題と尾張旭市さんの課題などは似ている内容だと思います。オンライン申請を受けた後処理のデジタル活用、例えばＡＰＩ連携、ＩＰＡ連携などが代表的だと思いますが、この辺実施されているような団体がございましたら挙手のほうお願いいたします。
小牧市さん尾張旭市さんよろしかったでしょうか。それでは続きまして高浜市さんの申請件数の多いオンライン手続について、把握されている団体があって御発言頂けるような、何かございましたら挙手のほうお願いいたします。
みよし市の場合は、子供関係がオンライン申請が多いものになっております。保育

園関係はもう全てオンライン化になってますので、保育園関連のオンライン申請の件数としてはかなりトップの方になるのかなと思っております。
高浜市さんよろしかったでしょうか。続きまして愛西市さんの統一フォーマットの実現ですとか、外部委託による効率的かつ利便性の高い仕組みづくりをされている団体がありましたら、挙手のほうをお願いいたします。
愛西市さんよろしいでしょうか。はい。ありがとうございました。追加で何かこれ以外で伺ってみたい市がございましたら挙手をお願いいたします。

【春日井市】
春日井市です、とりまとめの表を御覧頂くとですね、令和 7 年度末時点でのオンライン導入は 212 というようなことになっているんですけれども、実は今年度突然ですね、一宮市さんのように原則 100 パーであるというような話が来てですね、我々非常に戸惑っているというのが現状でございます。
一方で、先ほどですね、県さんからメールもオンラインでしょっていうような、お話もありました。今日の取りまとめ表を見るとですね、1000 件を超える数字を挙げている市町村さんと、私どもでどうこう同じような 2 桁ないし 200 件ぐらいまでというふうに出している市町村にですね、ちょっとくっきり分かれたなあっていうようなところが見て取れます。
皆さんの中で、メールはオンラインだ、メールはオンラインじゃないっていう判断が変わるとここの数の見方がまた変わってくるのかなと今感じましたので、ちょっと皆さん失礼ながらですね、この場でぱっとこう手挙げで聞いてしまうのか早いかなと思ったんですが、メールもオンラインとしてお答えになられた市町村さん御手を挙げていただけますか。
豊橋市さん、名古屋市さん、半田市さん、その他の市町さんは、例えばロゴフォームであるとか、ぴったりサービス、グラファーだとか、そういうものじゃないとオンラインとはみなさないという認識でよろしいでしょうか。
そうすると一宮市さんだけがつぶ感が際立って高いっていうか、ちょっと一宮市さん一つだけお伺いしたいんですけども、手続の中の一部でもオンラインになればっていうのはですね、受付側ではなくて、返し側、すなわち、市町村側からですね、決定通知を何かで送ればそれはオンラインなど、受付はやっぱり持参でないといけませんっていうのもオンライン化とみなしてみえるんでしょうか。

【一宮市】
今の御質問にお答えすると返信する部分については全然考慮してないです。
手続の一部については、例えば申請に必要な記載事項だけ最初書かせてですね、そのあと来庁させるっていう方法と、例えば来庁が必要でやっぱり建築関係とか書類が多いものってなかなか難しいよねっていう話があるんですけども、そういった大量の書類があるものについてはその部分だけ郵送でやりとりしてもいいですよとかっていう形で、そういう形で先ほど言いましたけど、来庁予約だけでもできるようにしていただければそれが実際来庁が必要であったとしてもそのオンライン化、オンラインで

何かしらタッチできる状態をつくれればっていうところで進めてるような状況です。

【春日井市】
すいません、粒感がもう一市大きいところが豊田市さんが大きいですけれども、メール抜きで 1269 件で 4 桁になってます。このオンラインっていうのは、一部っていうことではなくて、最後まで、つまり行政側が何かを相手側に返すところまで、完全にオンライン化したとしてオンラインとしてみえるか、受付サイドだけがオンラインになってれば返し側は通らないっていうことになってるかその辺りは、お願いできますでしょうか。

【豊田市】
はい。一部だけも含めてということになっております。例えばで言いますと、子供の健康手帳交付といいますか出生届を出して子供関係の部署に来て手帳を交付するという手続がございます。
手帳の交付もありますしその場で面談みたいなものも若干しますので、来ていただいたほうが絶対いいのでそこは来てくださいとなってるんですが、例えば第一子のをお連れになって第二子の手続に来られた場合とか、できるだけ早く帰りたいというお子様もいらっしゃいますので、電子で受け付けられる部分は予め電子で受け付けておくと時間短縮にもなるし職員の負担減にもなりますので、そういった部分的なオンラインもカウントした数になっています。以上です。

【春日井市】
せっかくの機会ですので、もう一つだけ、皆さんからお聞かせください。
我々ですね、原則 100％オンライン化と言われたときに、しかしそれはオンラインもかすなわち、今までどおり手で持ってくるものを許容した上でオンラインも介するというふうな話をですね、もらっているというか、やらなければならないというような状況下にある中で、原課からすればですね、それを手続は二重なって俺たち面倒くさくなるばっかりだという声が出ております。
ただ、多分ここにお越しになられてるかった方は皆さんオンラインもか、を取り組まれているのかなあと思うんですが、いや違いますと、オンライン化はオンラインしか駄目で取り組まれてるところがあれば、挙手を願いますでしょうか。
ありませんね。はい、ありがとうございました。

【議長】
他に何か聞きたいことがございましたら挙手をお願いします。特に無いようですので、愛知県さんからこの議題に対して何かコメント等がありましたらご発言をお願いします。

【愛知県デジタル戦略課　平田主査】
ありがとうございます。愛知県のオンライン化の状況でございますけれども、昨年

度末時点で約 86％で、487 オンライン化対象手続のうちの 418 がオンライン化されたというところで、愛知県も原則 100％を目指しておりますけど、もう少しかなといったところが現状になっています。

今後の取組の方向性といたしましては、もちろん手続のオンライン化を 100％目指すというところもそうなんですけれども、名古屋市さんがおっしゃったように、実際、使われているのかどうかっていうところ、オンライン化した手続のオンラインでの申請率の向上というところでいきますと、あまり愛知県も数値としては高くないという、名古屋市さんと同じような状況になっていますので、これをどう向上させていくかっていうところで、利便性という意味で、申請の画面、手続フォーマットですね、一宮市さんがおっしゃったように、何回もクリックしないと進まないと手間と思ってやめてしまう方もいらっしゃるでしょうし、申請画面を利用者目線に立って何か工夫できないかとか、あいち電子申請・届出システムですと、利用者の方からのコメントも頂けるというところ、ユーザーレビューというのもありますので、そこで改善点とかですね、利用者の方からコメントとして頂いているものはしっかりとウォッチして、何か申請画面が見にくくなっていないかとか、一つ一つ改善を図っていけるといいのかなと考えています。また、瀬戸市さんがおっしゃったように、対面で紙で申請してきてくださった方に対して、オンラインでも申請できますよという案内をするというのは、良い取組なのかなとお聞きしておりました。オンライン化とオンライン申請率の向上に向けて、愛知県もこれから取り組んでいきたいと考えているところです。以上でございます。

【議長】

ありがとうございました。議題３につきましては以上とさせていただきます。続きまして続きまして議題４庁内回線無線化に伴う運用の変化と課題について、提案市であります清須市さんより趣旨説明をいたします。

●議題４　庁内回線無線化に伴う運用の変化と課題について

【清須市】

清須市の渡邉と申します。よろしくお願いいたします。

本市ではペーパーレス化の実現に向けて、LGWAN 系の事務用のパソコンの無線化を今検討しております。

現在有線接続をしておりまして、机とパソコンをワイヤーロックでつないで盗難防止対策のほうを実施してますが、そのため、逆に会議室へは端末を持ち運んだりすることができませんので、そういった会議を行う際には紙での資料に依存した業務運営ということになっております。そのためですね、今検討しております無線化の導入につきまして、御参考にさせていただきたく各市の導入状況、課題、運用状況について質問をさせていただきました。以上でございます。

【議長】

ありがとうございます。各市の回答見させていただきますと（1）（2）に関しましては、時期にばらつきはありますが多くの自治体で無線化されている状況が見て取れます。
（3）に関しましてはセキュリティワイヤーの利用は団体によって分かれているようです。パソコンの小型化によりまして自席での大型モニターを別にしているというところもあるようです。
（4）に関しましては、出先での無線化が遅れている課題を挙げている団体が幾つかあります。また無線のためある程度しょうがないと思いますが、ネットワークが不安定であるという課題を上げている団体も幾つかあります。
（5）につきましては後ほどとさせていただきますので、ここまで各市の回答で補足説明したい市がありましたら挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。
それでは清須市さんのほうで特に伺ってみたい事がございましたら御発言をお願いいたします。

【清須市】
はい、ありがとうございます。
それではすいません、ラックでのパソコンの保管を行っているということで刈谷市様のほうと、あと条件付きで端末の持ち出しを可能としているということで、豊明市様のほうに追加でお伺いさせていただきたいと思います。
まず刈谷市様のほうに、退庁時は鍵のかかるラックなどでＯＡ用のパソコンを保管するというふうにありますけれども、適切にこれが保管されているというような確認をするような運用ルール、例えば課で最後に退庁する方が全員分のパソコンがラックに入っていることを確認する、ですとか帳簿をつけているというような運用ルールを設けておりますでしょうか。

【刈谷市】
刈谷市の井上と申します。清須市さんのお尋ねの内容について結論から先に言いますと、残念ながら御期待に沿えるような運用がきっちりできているというものはない状況ではあります。実際どう運用してるのかというところなんですけど、刈谷市は庁舎の建て替えを 2010 年に行い引っ越しをしております。そのときに、なるべく収納ラック系は余裕を持って設置をしておりますので、物理的にパソコンをしまうスペースは確保ができておりますので、まずもってしまう場所がないということはない状況にはなっております。新庁舎にしたときに合わせて床の構造をフリーアドレスに対応できるようにしつらえておりました。
引っ越ししたときは各職員それぞれ以前の机を持ってきてっていうふうに運用してたんですけど、順次フリーアドレス化してまいりまして、現時点で 100％ではないですけどほぼフリーアドレス化ができております。そうすると各職員、大体毎日座る席は決まってはいるんですけど、基本的に各自の席っていうのがないので各自持ちの持ち物はテーブルの上に置かず、何もない状態で帰るようにしてます。
ですので、必然的に個人の持ち物も含めてラックに収納して鍵をかけて帰るという

ことができておりますので、基本的には誰かが目を見張って確認をすることがなくても、完璧にできてるかどうかは自信がないんですけど、確認も実際したことが今日時点ではないですけど、朝出勤してまいりますと各階の部屋の様子を見てると基本的にはテーブルの上には何もない状態となっておりますので、結果的にできていると思っております。あまり参考にならない回答で申し訳ないんですが、そのような状況です。

【清須市】
ありがとうございます。では続きまして豊明市様のほうにはですね、本庁舎以外から本庁舎への端末の持ち出しを可能とするに当たりまして、どういった運用ルールを設けたでしょうか、また、データの遠隔消去機能を有したソフトの導入は行っているかも併せてお伺いさせていただけますでしょうか。

【豊明市】
豊明市の長野でございます、よろしくお願いします。基本的に持ち出しのほうは禁止、不可でございます。出先機関、具体的には図書館、保育園、給食センターからの本庁舎への持込みといいますか、持ち出しのみを管理するという運用に変更いたしました。
ルールや運用を設けたというよりもですね、持ち出しを一切禁止のところから一部可ということで緩和をしたというところでございます。豊明市のほうは令和6年度にLGWANの庁内ネットワークの無線化をしまして、同じタイミングでLGWAN系のパソコンのほうの更新をしております。それまではノートパソコンを使用しておりましてワイヤーロックをして席からは持ち出しできない、持ち出し禁止の運用としておりました。更新の際に、無線化に伴って会議室や打合せスペースでの利用を考慮しまして、タブレットタイプのパソコンとモニターを選定いたしました。
出先機関に対しましても、LGWAN系の事務パソコンはタブレットに更新をしましたけれども、出先機関は無線化しておりませんので、有線接続とワイヤーロックは継続の運用になっておりますけれども、本庁舎であれば無線接続が可能ですので、出先機関から本庁舎への持ち出しのみを限定して稼働したところでございます。
それから2点目の消去機能等のソフトの導入でございますけれども、特にセキュリティー関係のソフトを導入のほうは行っておりません。
置き忘れですとか盗難の御心配かなと思いますけれども、持ち出せる場所が本庁舎のみに限定しておりますので、他の場所での使用は目的としておりませんので置き忘れても庁舎内だろうというところから、遠隔消去等のソフトの導入はしていないというところでございます。以上でございます。

【清須市】
ありがとうございました。

【議長】
それでは、(5)に入りますが、幾つか課題として出ておりますが通信の安定のため

に工夫している事例共有頂ける市がございましたら挙手をお願いいたします。他にも書いてありましたが導入するときにはどこに設置すると一番効率よく切り替わるかというところが必要なのかなと思いますので、資料に記載がありましたのでご参考頂ければなと思います。
　続いて名古屋市さんとみよし市で挙げた課題になりますが、マイナンバー系の無線化を検討または実施している団体がございましたら挙手のほうをお願いいたします。

【新城市】
　令和２年から実施しています。

【名古屋市】
　名古屋市でも検討が具体に進んでいるかのような書き方になってしまってるんですけど、できるできない含めて検討していかなくちゃいけないっていう認識でいると、そういった状況でございます。

【議長】
　すいません私から一つ、みよし市のとこに書いてあるんですが、マイナンバーの管理区域の考え方があると思うんですが、マイナンバーを扱っていい区域っていうものを、まずこの事務室内ですよって決めなさいっていうのがあると思うんですけど、マイナンバー系を無線化してしまうと、どこでも持って行けてしまうので、その辺りをどういう整理をされたか教えていただければ。

【新城市】
　ちょっと、どういう整理をしているかっていうことにお答えはちょっとできないが、フロアー毎で管理はしていますが、一階と二階に基幹系の端末がありますのでそちら運用していると考えています。

【議長】
　続きまして豊川さんの課題に関しまして、クライアント証明書を利用している場合、運用管理の職員が実施しているかについて事例共有頂ける市がございましたら挙手をお願いいたします。
　特にはやられてないというところのようです。それでは追加で伺ってみたい市がございましたら、挙手をお願いいたします。特にないようですので、愛知県さんからこの議題につきましてコメントなどあるようでしたらご発言をお願いします。

【愛知県デジタル戦略課情報システム室　児玉室長補佐】
　愛知県情報システム室児玉です。本県では、業務 PC はインターネットセグメントに置いておりまして、いわゆるβ‘モデルを採用しております。無線化につきましては、2002 年度から進めておりまして、これまでの間、パソコンの小型化、ストレージの暗号化、今もお話のありましたとおり認証方法の変更という形でセキュリティを高

めております。また今年度から職員の人事異動時に業務用パソコンを持ち出しさせておりますが、今のところ事故は起きていない状況です。課題といたしましては豊田市さんからご指摘いただきましたが、どうしても無線の場合通信が不安定になりますので、例えば無線ＡＰの設置の見直しなどもやっていますが、特に顕著なのが Teams とかですね、ストリーミング配信を使った場合映像が乱れたりするものですから、県庁内の大きな会議室には有線用のＬＡＮアダプタを設置しまして、例えば知事が出席するような重要な会議の際は有線ＬＡＮでパソコンを接続して会議に臨むよう各課には周知しているところです。簡単ではありますが、以上です。

【議長】
ありがとうございました。議題４につきましては以上とさせていただきます。
続きまして議題５その他に入らせていただきます。

●議題５　その他

【議長】
せっかくの機会ですので、会全体をとおしまして何か御意見、御質問等ありましたら挙手をお願いいたします。

【尾張旭市】
尾張旭市の久野です。議題の提出期限後になってちょっと今、私ども非常に悩んでいる課題がありまして、各市の状況を聞ければなというところなんですが、本市はオンプレミスでサーバーを幾つか置いていろんなシステムを運用しております。大体が 5 年間のリース契約を結んでサーバー運用してきております。昨今財政状況厳しいものですから、できるだけ再リースをするとかしてリース期間延ばすなんていうこともしながら費用を抑えてきてるんですが、今年に入りましてちょっとサーバーの費用の高騰が信じられない状況になってまして、ベンダーのほうから、まず中東情勢のこともあるとか、ＡＩへの需要の高騰もあってサーバーを納入する納期が、申し訳ないけど去年の予算を提出した段階ともう全然違いますよ。
今までだったら６か月ぐらい見てもらえば大丈夫だったかもしれないですけど、６か月ではもう入りません。では早めようとすると、予算を債務負担行為をとるなどして対応しなきゃいけないなということでその対応をするための予算をとったところ、今使ってるサーバー、例えば一つのサーバーは５年間でトータル 5000 万ぐらいでリース契約を結んでたんですけど、5 月の時点で出てきた見積りが 2 億円になっていました。
それで財政のほうと調整をしようと思ってやってたんですがなかなか難しい出すタイミングをどうしようと、ちょっと 6 月の補正は難しい。9 月の補正に向けて、先延ばしで検討できるかということでぎりぎりリース期間を延ばして、少し考える期間を設けたんですが、現時点では同じ機能のみ 4 億 7000 万円ですという見積りが出てきました。

このペースで上がり続けると、予算化して発注をする 2 か月後 3 か月後には、もう桁がもう 1 個上がるかもしれませんよというようなことをベンダーから言われてます。いやいやそれはにわかに信じられないよということで財政サイドからは別の事業者さんからも話を聞いて見積りをとれよということで、別の事業者さん聞いてもほぼほぼ同じ状況で、5 年前と比べて 10 倍で収まらないような費用間の今見積りが出てます。

ちょっと財政当局と話をするに当たって、そんなおまえら騙されてんだろうというようなぐらいの勢いを言われることもあるので、もし同じようなタイミングで今サーバーの更新等を検討していらっしゃる団体があったら、これ同じ状況なんですかねっていうのがちょっとお尋ねできればと思いまして、さっき春日井さんやいらっしゃったのでちょっと参考にさせていただいて、同じような話がある団体さんがいらっしゃったらちょっと、いらっしゃいますでしょうか。

【議長】

大府市さんと安城市さん。

【尾張旭市】

お聞きできるのであれば費用感はどうでしょうか。本当に１０倍もあがりますか。

【大府市】

大府市です。費用は 10 倍までは行っていないんですけれども、昨年度出してもらった見積りではサーバーだけでいうと１．３倍ぐらいになっていまして、ただ納期が出せないっていうのと、あと入札かけてから納品時までに金額上がった場合はその分を払ってほしいというなことを言われていまして、さすがに自治体の契約上そういうことはできないのでって話をして、そこはちょっとベンダーさんのほうで飲んでもらうような話で、一応年度内に何とか納入できる算段がついたっていうところあるんですけど、金額面はやっぱり同じような話でちょっと別のベンダーさんの話を聞くとやっぱメモリがすごく高騰していて、1 年で 10 倍ぐらいがサーバーのメモリが上がったっていう話も聞いてます。

大府市も似たような状況で、ちょっと補正までいかないんですが金額を上げないといけないかなというところは出てきています。以上です。

【尾張旭市】

ありがとうございます。もしもですね、今年の 11 月に入れるサーバーについては、ほぼ同じような感じで何とか進んだんですけど、もうその次のところが今話をしてると、そのときと比べて、倍々になってまして、財政のほうからお金がないよって言われたらどうしようかっていうところなんですよ。はい。他にもいらっしゃったらお願いします。

【議長】

安城市さん。

【安城市】
安城市も５年に一度更新を行っておりまして、今年私どもは何とか予算内で収まったんですが、実施計画てか、こっから来年から３年間の機器の更新とかを計画的に一応企画サイドとかに申請するのがあるんですが、やっぱり昨年の金額が同じものをやったときに1.5倍とかっていうような金額になっているというような形で、今企画サイドには要望というかよう要求のほうをさしていただいているようなかたちで動いています。
データセンターさんを使ってるやつについては同じようなイメージになっていますので、安城市、やっぱりちょっとこう保守の延長をして、機器って都度都度入れると５年に一遍、随契が続いてっていうふうになっちゃうというところを更新時期そろえプロパーでやってみようか、ということも検討しながらっていうような形で何とかあとシステムの構成をなるべく経費を下げるようなかたちで設計の変更できないかというのを、ベンダーさんと相談しながらなるべく経費差の上昇を抑えるような形での取組をしている状況です。

【尾張旭市】
ありがとうございました。私ども情報システム担当としましては職員が仕事ができる環境が市民の皆様のサービスを実施するための基盤なので、何とかしなきゃいけないなと思うんですがちょっと今そんな困りが出てきてますので、また何かの機会があればそういう情報を共有しつつ、ちょっともう単独の市町村で対応し切れないことが出てきたら何か皆さんで知恵を出し合うことがあればいいなと思ってちょっとお聞きしました。ありがとうございます。

【議長】
今のお話で私の危機感が他にありまして、国がつくったこれから得体の知れない機器は入れちゃいけないよっていう指針が出てきましたけど、それに関して恐らく、多分それによってもお金が上がるんだろうなあっていう、何となくの想像があるので、半導体、メモリの高騰プラスその影響でさらに上がるんじゃないかなという気はしてますんで、だから何ができるかっていうのもないんですけど、ちょっと今そんなような気がしております。他に何か、せっかくの機会ですので、聞いてみたいことがございましたら。
よろしいでしょうか。特にないようですので、続いて次第４次年度当番市の決定に入ります。次年度の当番市について、事務局から説明をお願いします。

④　次年度当番市の決定
【議長】
次年度の当番市について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】
次年度の当番市について、でございますが、建制番号順によりまして、議長当番市は、あま市さんにお願いすることとなります。あま市さん、どうぞよろしくお願いいたします。事務局からは以上です。

【議長】
以上をもちまして、私の議長としての役割を終えさせていただきます。皆さんご協力ありがとうございました。

⑤　閉　　会
【事務局】
芳村課長ありがとうございました。議題1で、稲沢市さんと尾張旭市さんの追加の質問について調査をさせていただいて各市へ情報の共有というお話がありましたので、改めて準備が出来次第、各市の皆様へ回答のご協力を頂くかと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
これをもちまして、電算・情報関係部課長会議を閉会します。